

Injury Alert (傷害速報)類似事例

板ナスカンによる歯間嵌入 (No.30 蛇口による乳臼歯脱臼の類似事例 1)

事例	年齢：3歳3か月 性別：女児 体重：16.8kg 身長：89.2cm	
傷害の種類	口腔異物	
原因対象物	板ナスカン	
臨床診断名	口腔異物、歯肉挫創	
医療費	86,130円	
発生状況	発生場所	自宅の子ども部屋
	周囲の人・状況	本児が自宅の子ども部屋で、一人で板ナスカンが付属したネックレス状のおもちゃで遊んでいた。両親は別室にいた。
	発生年月日・時刻	2018年1月X日(火) 午後10時30分頃
	発生時の詳しい様子と経緯	発達の異常は指摘されていない3歳女児。 午後10時30分頃、本児が板ナスカン付きのネックレス状のおもちゃで遊んでいるのを母が目撃した。母が別室に行った数分後、本児が母のところに来た際に板ナスカンが歯に引っかかって取れなくなっていた。両親が児の状態を確認した際、用手での除去は困難であったため、同日に医療機関を受診した。
治療経過と予後	受診時、バイタルサインに異常は無かった。板ナスカンが、左下乳中切歯の歯間に図1(b)のように嵌まり込んでいた。隣接する歯肉に挫創を認める以外には、異常所見はなかった(図1)。用手的に除去を試みたが困難であったため、板ナスカンの一部を切断して除去することとした。 静脈鎮静下に、リングカッターで板ナスカンの一部を切断しようとしたが、15分経過しても切断できなかった。リングカッターによる切断を試みたことで摩耗した部分を、さらにニッパーで切断したところ、ペンダント部分が外れ(図2)、除去できた。鎮静後の覚醒確認まで経過観察入院とし、翌朝、退院した。 左下乳中切歯の歯肉に挫創を認めた(図3)が、創は浅く自然治癒が期待できる範囲内であったため、特に介入を必要としなかった。 その後本件に関して当院への再診はない。	

【こどもの生活環境改善委員会からのコメント】

ナスカン(茄子鑿)とは茄子のような形状をした金属製の接続金具で、押し込み式やレバー式がある。本事例の原因対象物は板状の押し込み式ナスカンである。本事例の受傷機転としては、本児が口で噛んで遊んでいたところ、開口部(図4)が少し開いて歯間にはいり込んだため、外そうと試みているうちに、乳切歯の歯間に図1(b)のように嵌まり込んだものではないか、と考えている。



(a)



(b)

図 1. 処置前 (a)おもちゃの全体像 (b)拡大図

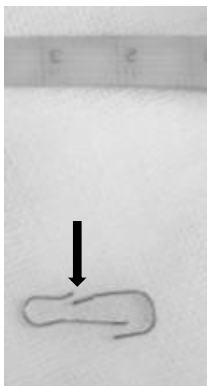


図 2. 切断した板ナスカン（写真内に→で示した部位で切断）



図 3. 歯茎部挫創（処置後）

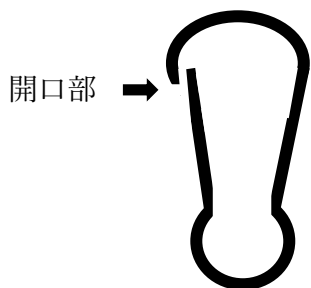


図 4. 板ナスカン 模式図